



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るく 考える子 強い子

がくとう

令和3年4月28日発行

校長 伊藤 栄司

5月号 No2

校歌に込められた思い

校長 伊藤 栄司

新学年が始まって1ヶ月が過ぎようとしています。校庭の大イチョウの木も見事な葉を繁らせ、春の日差しを遮って心地よい木陰を作り出しています。風薫る5月。子供たちは元気いっぱいに登校しています。

「香りゆたかな武蔵野の 光あふれる広い窓・・・」

校歌を初めて聞いたのは始業式の時でした。リズム感があって歌いやすく、学校の周りの風景や様子が織り込まれた素敵な校歌だと感じました。また、「明るく学ぶ」「強くきたえる」と教育目標も明確に示されており、狛江第五小で学ぶ意義とアイデンティティを感じさせる歌詞がとても気に入りました。何千人もの卒業生が53年間歌い続けてきた意味を考えながら、しっかりと歌い継いでいきたい歌です。

七五調の歌詞

リズムを感じるのは、7音と5音の繰り返しによって作られているからと気づきました。昔から日本では短歌や俳句、長歌など5音と7音を組み合わせる定型詩がありました。日本語自体が5音7音に合うように創られてきたのではないかと思います。最近の歌謡曲等ではあまり使われることがありませんが、なんとなく口ずさんでしまう歌の中には7音、5音の繰り返しになっていることがよくあります。

いそしみ学ぶ

校歌1番の「いそしみ」と2番の「たゆみなく」はあまり聞きなれない言葉です。「いそしみ」は「勤しみ」の漢字をあてることができ、一生懸命、熱心に励むの意があります。また、「たゆみなく」には「弛みなく」と漢字をあてることができ、勢いが弱まったり心がなえたりしない様子の意があります。つまり、「一生懸命、熱心に学びましょう」「いつまでも変わらぬ勢いで、強く鍛えていきましょう」となります。

どちらも最近あまり使われなくなった言葉ですが、日本語独特の美しさを感じさせてくれます。

歌い継がれる思い

50周年記念社会科副読本には、吉田瑞穂氏監修のもと校歌作成委員会の方々が中心となって作られたとあります。何度も話し合いを重ね、言葉一つ一つを吟味しながら作られた熱意が伝わってきます。歌詞に込められた、たくさんの思いをしっかりと受け止め、歌い継いでいくことができるように教育活動を進めていきます。

5月の予定		
3日(月)	憲法記念日	10日(月) 委員会活動
4日(火)	みどりの日	17日(月) 5時間授業
5日(水)	こどもの日	19日(水) 校内研究日
6日(木)	4時間授業	20日(木) 日本女子大
	13時15分下校	インターンシップ
7日(金)	4時間授業	21日(金) 校外学習(2)
	13時15分下校	24日(月) クラブ活動
※8日の土曜授業はありません。		あいさつ運動開始
		読書週間開始
		25日(火) 安全指導日
		学校運営連絡協議会
		27日(木) 全国学力調査(6)
		28日(金) 校外学習(1)
		あいさつ運動終了
		読書週間終了
		※4月30日(金) 5月6日(木)
		7日(金) 5・6校時の
		ふたば教室の指導はありません。

5月の生活目標：きまりを守ろう（通学路・チャイム・遊び・登校時刻など）

4月16日には1年生を迎える会があり、第五小学校に新しい仲間が加わったことを改めてお祝いました。休み時間の校庭では、1年生から6年生までが決められた場所の中で、きまりを守って楽しく遊んでいます。

さて、今月の目標は「きまりを守ろう」です。学校生活を楽しく、安全に過ごすには、きまりや約束を守ることが必要です。

学校では、交通ルール・登校時刻・校舎内での過ごし方・持ち物・遊びの時間のきまりや約束・コロナ禍での生活の仕方などについて「なぜきまりがあり、みんなで守ることが大切なのか。」を指導しています。各ご家庭に配布した『よくわかる！五小ベシック』をお子さんと一緒に読み、進んできまりを守ることができるよう、ご家庭でもお話してください。

（生活指導委員会：高須 優子）



【ふたば教室から】

本年度も48名の児童がふたば教室での学習をスタートしました。4月は子供たちも新しい先生との出会いに少しドキドキしながら、お互いを知るゲーム活動に取り組み、教員や友達と楽しく活動していました。

週2時間の小集団活動と個別学習を通して、自分のよさに気づき長所を伸ばしていくことや、苦手なことや困っていることについて教員と一緒に手だてを考え、子供たちの自信や笑顔につなげていくことを目指しています。保護者の皆様と、在籍学級をはじめ五小の先生方と連携して指導に当たっていきます。よろしくお願いします。

（ふたば教室：平 聖子）



《1年生を迎える会》

4月16日に1年生の入学をお祝いする「1年生を迎える会」を行いました。1年生は、毎日お手伝いをしてくれている6年生と一緒に笑顔で入場しました。会の中では、6年生から歓迎の出し物として王様じゃんけんが行われました。「1年生を喜ばせたい」「笑顔で五小に迎えたい」との思いが伝わってくる出し物で、1年生も笑顔で楽しく参加していました。

五小の児童みんなが兄弟・姉妹のように仲良くできるよう、今後も感染症対策を講じ、安全に留意して児童会活動を充実させていきます。1年間よろしくお願いします。

（特別活動委員会：山田 周吾）

